【夢いっぱい　笑顔いっぱい　元気いっぱの　知念っ子】

ティーダ

学校だより第 19 号　発行者
南城市立知念小学校
校長　長木　克憲
令和８年 10 月 16 日

【学校保健委員会】

１０月７日(水)に学校保健委員会が開催されました。参加者は、学校医、歯科医、薬剤師小中のＰＴＡ会長、校長・教頭、養護教諭で、今年度の検診結果をもとに、児童・生徒の健康について話し合いを持ちました。小学校では、「肥満傾向にある」「全国・県よりも視力１.0未満者の割合が低い。」「虫歯ありの児童が全体の28％で、県よりはいいが、全国より多い。」という実態と課題があげられました。気になる結果がでた児童には治療を勧めています。歯科はなかなか予約がとれないという話もありましたが、永久歯の為にも乳歯の治療は大切なことだそうです。仕事の都合で忙しくなかなか時間が取れないと思いますが、大切なお子さんのため、ご検討をお願いします。

また、学校医からは「生活習慣づけの重要性について」、歯科医からは、「受診率の低さと早期治療の重要性」、薬剤師からは「知念の自然の豊かさと健康について」と「校舎内の照度について」それぞれ指導助言をいただきました。

学校では、今後も健康教育、治療勧告、食育指導、保健指導を進めていきます。ご家庭では、「規則正しい生活習慣作り」、「テレビ視聴・ゲームの使用時間等の家庭のルール」「早期治療」をよろしくお願いします。

学校と家庭・地域で協力して、知念の宝を育てて行きましょう。

【音楽鑑賞会】

10 月 13 日(火)の２校時に音楽鑑賞会を実施しました。今回は、地域コーディネーターの三好さんからの紹介でヴァイオリニストの竜馬氏とピアニストの田口氏が来校し、素敵な演奏を聴かせてくれました。「にじ」という曲では、低学年から自然と歌い出し、微笑ましい光景が見られました。また、「島んちゅぬ宝」ではヘーシや指笛も鳴り響きました。最後に竜馬さんが作曲した「SYURI NO UTA」を全員合唱して、楽しいひと時を過ごせ、知念っ子の素敵な姿が見られました。

竜馬氏の話しの中で、自分の体験談から夢についての話をしてくれました。夢を叶えるの「叶」という字は、口で十人に伝えると書き、夢を人に話すことが大切だと教えてくれました。そして、夢を叶える為の努力も・・・。竜馬氏は一日 12 時間も練習をして、ヴァイオリニストという自分の夢を叶えたそうです。現在は有名ミュージシャンとの共演や作曲を手がけ、世界各地で活躍しています。

竜馬氏は千葉県出身ですが、首里城の大火災を知り復興支援コンサートを行い、首里城再建に尽力された方で、「故郷を大切にしてほしい。」とありがたいコメントもいただきました。

計画してくれた三好さん。ありがとうございました。





